

保育士の活動

1. スタッフ

- 2 A病棟 中村 崇江 磯 麻貴 櫻井 綾
- 3 A病棟 有村 理美 森本 智子 園 友香理
- 4 A病棟 堀内けい子 小谷 朋美

2. 保育士の役割

保育業務が確立されており、子どもと家族が安心して入院中であっても子どもらしい生活を送ることができるように、生活や遊び、学習の支援、家族への支援を行っている。また、入院したことが、プラスの体験となればよいと願いかかわっている。

以上のことを基本に、短期入院の子ども達には心の安定を図ること、長期入院の子ども達には生活の場を整えること、成長発達を促進すること、検査や手術のために入院してくる子ども達には不安の軽減や気分転換などを中心に支援を行っている。保護者に対しても、子どもの入院生活を安心して受け止められるようにコミュニケーションを密にして支援を行っている。また、必要に応じて、子育ての相談や支援も行っている。

本年度より、NICUでの保育を継続的に行うために保育士を1名増員し、常勤の保育士が8名となった。

日本医療保育学会認定「医療保育専門士」：3名
中村 崇江・堀内けい子・有村 理美

3. 実績・活動

1) 平成24年度の主な行事

①子ども医療センター全体で行った行事

月 日	行事名
6月10日	ハッピードールプロジェクト
2月6日	(2回に分けて訪問)
7月19日	キティちゃんの訪問
8～9月	とちぎプレックスの訪問
10月16日	銀だこカー訪問
10月24日	ドナルド・アピアランス

②病棟ごとの行事

月	行事名	病棟
5月	ピクニック	3 A病棟
7～8月	夕涼み会	2 A・3 A・4 A病棟
10月	ハロウィン	2 A・3 A・4 A病棟
12月	クリスマス会	2 A・3 A・4 A病棟

* 節分、ひな祭りは各病棟の保育活動の中で実施した。

③クリニック라운の訪問

昨年度に引き続き、今年度も4 A病棟と2 B病棟に4回訪問していただいた。

その他、エプロンシアター、手品、合唱、楽器演奏、バルーンアートなどを各々の病棟で実施した。

2) 研修会

医療現場において保育士が専門職として、医療保育実践能力を向上させ、子どもや家族に質の高い保育を提供できることを目的に、保育士の教育計画を作成し、研修会等を行っている。今年度は、研修会開催2年目となり、経年別研修の1年目の研修を初めて開催した。

研修会名	参加人数
保育基本 I	2名
保育支援過程 I	2名
リーダー I	2名
研究 I	2名
研究 II (JASMINの研修会に参加)	1名

3) 保育士の係活動

- ・勉強会を企画し、2回実施した。

月	勉強会名
11月	運動発達について —発達を獲得するための支援方法—
2月	多重課題
3月	医療現場における保育倫理：事例検討

運動発達の勉強会では、理学療法士から講義を受け、人形を使つてのデモンストレーションと実技という内容のため、分かりやすく、すぐに日々の保育の中で実践することができた。

4) その他

- ・子ども医療センター全体の遊具や本の管理を行っている。
- ・支援基金の寄贈品の中で、保育活動に必要な物品の管理を行っている。
- ・NICUの保育を継続的に行った。
- ・日本医療保育学会演題を発表した。
- ・雑誌「小児看護」に以下の内容を掲載した。
「小児医療専門施設における保育士の役割」
- ・小児科学会学術集会のシンポジウムに参加した。
「病棟の子ども達をサポートする」シンポジスト
- ・子ども療養支援士養成の講師を担当した。
- ・公益法人看護協会企画の研修会の講師を担当した。

- ・日本医療保育学会の機関誌「医療と保育」に投稿した。

4. 事業計画・来年度の目標など

- ・今年度に引き続き、病棟の特徴に応じた保育活動・行事の運営について見直し実施する。
- ・NICUやPICUの保育を計画的に行い充実させる。
- ・保育士教育計画に基づき研修会を開催して2年が経過した。教育計画並びに研修会の企画運営について評価を行う。次年度も引き続き研修会を実施し、保育の質の向上、自己研鑽を行う。